
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 159 号(2026.3.31)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 159 号をお届けします。

第 159 号の目次

1 活動組織の活動紹介

☆^{みふね}三舟の里保全会（^{きみづ}千葉県君津市）☆

水路やため池の補修等を行うとともに、地域内での話合いや広報「三舟の里」を利用した情報の発信等のソフト面も大事にして活動しています！

☆^{おおの}大野東部農地環境保全協議会（^{おおの}福井県大野市）☆

広域化のメリットを生かし、複数集落に跨る水路等で長寿命化対策を実施しています！また、地元の小学校と連携し、環境学習会や生きもの調査に取り組んでいます！

2 活動組織の代表へのインタビュー

☆^{たわら}田原町環境保全活動組織（^{ひこね}滋賀県彦根市）☆

構成員の方と良好な関係を維持しつつ、農道や水路の清掃、除草活動に取り組んでいます！また、農村文化の伝承を目指して子供たちとの交流活動を実施しています！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆^{おおたに}大谷資源保全会（^{ごじょう}奈良県五條市）☆

景観形成等の役割や、共同で活動を行う大切さなどを伝える交流のツールとして、写真を積極的に使用したパンフレットを地域住民に配布しています！

【編集後記】

■ 1 活動組織の活動紹介(1) ～三舟の里保全会(千葉県君津市)～ ■

～ 地区概要 ～

上湯江の三舟の里保全会は、千葉県中部の君津市に位置し、市街地に近い三舟山の裾野に広がる集落にて活動しています。

活動範囲は、田 25ha、畑 29ha、草地 0.24ha、農道 4.7km、水路 13.3km です。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本組織は平成 19 年度から本交付金を活用し、用水路やため池の補修等を行ってきました。また、「地域力を活かし、自分達で出来ることは何でもチャレンジする」という基本方針のもと、話合いや広報「三舟の里」を利用した情報の発信等のソフト面も大事にして活動している組織です。
- ◎ 菜の花とコスモスを植栽しており、それらをカメラを持った方々が撮影しに来ています。
- ◎ 有害獣対策として、中山間地域のみならず、市街地に近い本地域でも年々被害が増加していることから、平成 27 年から近隣集落と連携し金網柵の設置・補修を行い、管理を続けています。令和 7 年には専門家を招き、住民全体で「正しく理解して」「正しく怖がって」「正しく対策する」ための勉強会を実施し、アライグマなど小動物も含めた複合的な対策について学びました。
- ◎ 広報誌「三舟の里」を不定期に発信しています。平成 20 年 5 月から発行を続け、最新版は 325 号にもなります。広報誌は全戸配布し、保全会の活動報告や活動の周知に取り組んでいます。



植栽した菜の花 春の風景



用水路の改修



イノシシ防護柵の設置



広報「三舟の里」

【千葉県 農林水産部 農地・農村振興課 尾口】

編集担当 SDGs コメント

有害獣対策として金網柵の設置・補修を行い、管理を続けていることは、目標 2「持続可能な農業生産を支える。」に貢献しています。また、菜の花とコスモスを植栽することは、目標 3「やすらぎや福祉の機会を提供する。」に貢献しています。そして、広報誌を発信することは、目標 11「住み続けられる地域をつくる。」への貢献に繋がっています。さらに、用水路やため池の補修等を行うことは、目標 12「持続可能な生産・消費を進める。」に貢献しています。

今後もこのような活動を通じて、地域住民の関心が深まるよう応援します！



■1 活動組織の活動紹介(2) ～^{おの}大野東部農地環境保全協議会(福井県大野市)^{おの}～

～ 地区概要 ～

本組織は、福井県大野市の東部に位置する穀倉地帯で、29 集落と土地改良区や子供会・老人会等が参加する広域活動組織として活動しています。地域を流れる農業用水は、電力会社の水力発電にも利用されており、豊富で新鮮な水を使用している自然豊かな地域です。

活動範囲は、田 1,226ha、畑 5.6ha、農水路 260.6km、農道 123.8km です。

～ 主な取組 ～

- ◎ 地域内の水路や農道は造成後 30 年以上経過し老朽化が進んでいることから、複数集落に跨る水路等で一定規模での長寿命化対策を実施しています。このことは、活動組織を広域化した大きなメリットの一つになっています。
- ◎ また、恵まれた農村環境の保全の大切さや生まれ育った地域に愛着をもってもらうために、地元小学校と連携し、児童を対象とした環境学習会や生きもの調査を当初から継続して行っています。
- ◎ 今後も、豊かな地域を次世代に繋ぐために地域交流によって人と人の繋がりを強め、集落機能の強化を図り、共同活動の継続に向け取組を進めていきたいと思っています。

【福井県多面的機能発揮推進協議会 柘原一男】



地域住民で造成したピオトープ
(造成当時の写真)



環境学習会



生きもの調査

編集担当 SDGs コメント

老朽化した農業用施設の長寿命化を図ることは、目標 12「持続可能な生産・消費を進める。」に貢献しています。また、地元の小学校と連携し、次世代を担う子どもを対象に実施する環境学習会や生きもの調査は、目標 4「地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。」に貢献しています。今後も、地域内のコミュニティーを形成し、豊かで美しい農村を次世代に繋げられるよう応援します。



■2 活動組織の代表へのインタビュー

～^{たわら}田原町環境保全活動組織(滋賀県^{ひこね}彦根市)～■

組織の概要

彦根市田原町は、滋賀県の東部に位置し、水稻栽培が盛んな地域です。田原町環境保全活動組織は令和2年度から「広域ひこね協定」に参加し、広域事務局から事務作業や水路補修にかかる助言を受けながら、農地維持活動と資源向上活動（共同）に取り組んでいます。

(R7 年度時点)

活動範囲：田 30.8ha、畑 0.1ha

対象施設：水路 6.4km 農道 4.5km

活動開始時期：平成 19 年度



代表の手原さん

～ インタビュー ～

- 話し手：田原町環境保全活動組織 ^{てはら}手原さん
- 聞き手：滋賀県湖東農業農村振興事務所 丸山
- 実施日時：令和7年12月19日
- 実施場所：グリーンピアひこね

Q：代表を引き受けた理由を教えてください。

A：前任の意向を受け、後任を探しましたが受け手がなく、前自治会長としての責任で引き受けることにしました。地域に貢献したい思いが強く、また、兼業農家の父を手伝ってきたことから、農業や食生活に思い入れが深いことも理由の一つです。

Q：組織を運営する中で苦労したことを教えてください。

A：前任の方々のおかげで、構成員の方々の理解と協力を得ているので、役員の意向どおりに運営させていただいており、苦労は少ないです。農事改良組合や営農委員会と構成員が一致しているので意思疎通も図りやすいです。



排水の透視度調査の様子



泥上げ活動の様子

Q：代表として心掛けていることを教えてください。

A：農業と自然環境、動植物との関係や、天候や山、河川などとの地理的な関係、農業環境の歴史的な経緯について、県立琵琶湖博物館やインターネットで調べ知識を深めています。また、日常の農村風景を写真に残すよう心掛けています。



ゴミ拾い活動の様子

Q：若い世代との関わり方を教えてください。

A：少子高齢化が進み、十数年後には農村環境の維持が難しくなることを踏まえ、先人の土地改良事業の功績や、氏神さん祭祀と農業との関わりを、数少ない子どもたちに伝える活動を始めました。



農村風景の今昔写真展

Q：活動をおこなって良かったことを教えてください。

A：個人的には、代表就任以前と比べ、農業・農村、自然環境、地域の歴史や地理について知見を深めるようになったことです。構成員の方々にも、農道や水路の清掃、除草活動を通じて共同活動の大切さを理解していただいていることです。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：農業用施設の経年劣化に対応するため、補修や交換、復旧作業にかかる経費の捻出方策、資金調達方策を考えていきたいです。また、昨夏に地域内で実施した『農村風景の今昔写真展』の開催に加えて、使われなくなった農機具や歴史的文書の活用にも力を入れたいです。

【滋賀県湖東農業農村振興事務所田園振興課】

編集担当 SDGs コメント

農道や水路等の維持管理は、目標2「持続可能な農業生産を支える。」に貢献しています。また、将来を担う子供たちや地域住民に農業・農村への理解を深める機会を創出することは、目標4「地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。」に貢献しています。

今後もこのような活動を通じて、農村環境の保全が図られていくことを応援しています。



■3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

～大谷資源保全会(奈良県^{ごじょう}五條市)～■

パンフレットの概要

本組織では、草刈り作業などの基礎的活動に加え、毎年、地元の子ども達とマリーゴールドの植栽、近年減少している蛍の幼虫とカワニナの放流を行うなど、幅広い取組を通じて農村地域の維持に繋がっています。子ども達やご家族、地域住民（非農家）の方達にも

- ・景観形成や生態系保全の役割
- ・共同で活動を行う大切さ
- ・その成果（花が咲き、蛍が舞う美しい川）

を伝える交流のツールとしてパンフレットが活躍してくれています。

～工夫しているポイント～

ポイント1 パンフレットの配布により多くの地域住民へ周知

パンフレットを見る方の印象に残りやすいよう、配布により周知しています。

ポイント2 活動の内容が分かりやすい写真を使用

活動の写真を積極的に使用することで、小さな子ども達にも分かりやすいパンフレットにしています。

ポイント3 内容や連絡先を入れることにより、活動をよりアピール

「どんなことをする？誰が行っている？」を明確にし、連絡先を入れることにより取組についての質問もでき、いざという時の安心感にも繋がっています。

ポイント1 パンフレット配布により多くの地域住民へ周知

配布により周知することで、パンフレットを見る方の印象に残りやすく、より多くの参加者を確保することに繋がっています。

ポイント2 活動の内容が分かりやすい写真を使用

活動をイメージしやすく、目に入りやすい写真を使用するなど、小さな子供たちへの分かりやすさを意識しています。

下記の通り植栽とホタルの放流を行いますので、皆様、方障繰り合わせの上ご参加ください。

1. マリーゴールド等の植栽会

日時：2024（令和6）年6月23日(日) AM8:00～
場所：大谷相撲取り場付近農道
内容：景観を良くするために花を植えます

2. ホタルの幼虫とカワニナの放流会

日時：2024（令和6）年7月20日(土) PM5:00～
場所：〇〇さん宅前に集合
内容：ホタルの幼虫とカワニナを放流します

お問い合わせ先：多面的機能発揮促進事業 大谷地域資源保全会
代表 (TEL:)

ポイント3 内容や連絡先等を入れることにより、活動をよりアピール

取組内容、取組主体が明確になることで、安心して活動に参加できるよう配慮しています。

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは！いかがお過ごしでしょうか。今回の配信をもって、私が担当するメールマガジンは終了となります。1年間、御愛読いただきありがとうございました！

この1年間を通じ、活動組織による多様な取組を御紹介しました。地域によって取組は様々ですが、地域の共同活動を通じて、農業・農村を取り巻く環境を少しでも良くしたい、という思いは共通のものであると感じました。人口減少下でも農業の有する多面的機能を発揮できるよう、多面の取組を今後も応援します！

今後とも「農村ふるさと保全通信」をよろしく願いいたします。次回のメールマガジンもお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：大澤、土田）
TEL：03-3502-8111（内線 85640）